

(臨床研究に関するお知らせ)

白内障で通院歴のある患者さんへ

当院では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、診療情報や検査データ等を解析する「観察研究」という臨床研究で、和歌山県立医科大学倫理審査委員会の上、学長の許可を得て行うものです。通常の診療で得られた情報等を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

XY1-SP と XY1-EM における術後1週間視力の比較

2. 研究代表者

和歌山県立医科大学眼科学講座 学内助教 谷地珠希

3. 研究の目的

白内障手術において片目手術後1週間時点の矯正視力を評価し、僚眼の眼内レンズ度数決定に活用できるかを検証することを目的としています。本研究は、早期術後視力が屈折予測の指標となり得るかを明らかにし、より精度の高い個別化医療の実現と再手術リスク低減に寄与することを意義としています。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

白内障の患者さんで、2025年9月1日から2026年2月28日までの期間中に、白内障の治療（検査）を受けた方

(2) 研究期間

研究実施許可日～2030年1月1日まで

(3) 試料・情報の利用又は提供を開始する予定日

当院の研究実施許可日から1週間経過後

(4) 利用させて頂く試料・情報

この研究で利用させて頂くデータは、西暦2025年9月から西暦2026年2月の期間の年齢、性別、視力に関する情報です。

(5) 方法

評価の方法として視力を比較します。

5. 外部への試料・情報の提供

ありません。

6. 研究の実施体制

和歌山県立医科大学 眼科学講座

7. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

8. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、既にデータが解析され個人を特定できない場合など、研究の進捗状況によっては削除できないことがありますので、ご了承ください。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

9. 資金源及び利益相反等について

本研究に関連して開示すべき利益相反関係になる企業等はありません。

10. 問い合わせ先

【研究機関の問い合わせ先】

所属：和歌山県立医科大学眼科学講座

責任研究者：谷地 珠希

住所：和歌山市紀三井寺 811-1

TEL：073-447-2300 FAX：073-441-0706

E-mail：y-tamaki@wakayama-med.ac.jp